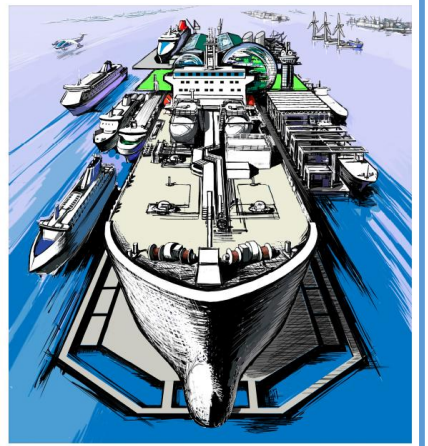


三菱造船(株)の事業基盤強化計画(抜粋)

企業概要

- 2018年1月に三菱重工の造船事業を継承して設立。三菱重工グループの技術力を基盤に建造船事業と海洋エンジニアリング事業の両輪で事業を展開。
- 建造船事業は、官公庁船やフェリー等の艤装密度の高い船種(高密度艤装船)を中心に取り組み。
- 海洋エンジニアリング事業は、これまでガス船建造で蓄積されたOil & Gas技術やインテグレーションのノウハウを活かし、環境システム製品の販売や、搭載される船の設計・建造・運航に関わるエンジニアリングサービスを提供している。



Marine Future Stream

三菱造船株式会社 

計画の概要

- 主力建造船であるフェリー、RORO船、自動車運搬船等の脱炭素化に向けて、LNGに加えメタノール燃料対応船の開発・建造に取り組む。また、GX経済移行債補助金を活用した下関造船所の建造能力増強・生産効率向上施策により、安全性・作業性をさらに高め、建造能力25%向上を実現する。
- 海洋エンジニアリング事業では、LNG燃料供給装置やアンモニア燃料供給装置等の拡販や船上CO₂回収システム、省エネデバイスの開発・市場投入を加速し、さらなる競争力強化を図る。

<計画実施期間> 2026年4月～2031年3月
<実施場所> 本社(東京都港区)
下関造船所(山口県下関市)



アンモニア燃料供給装置 (AFSS)モジュール